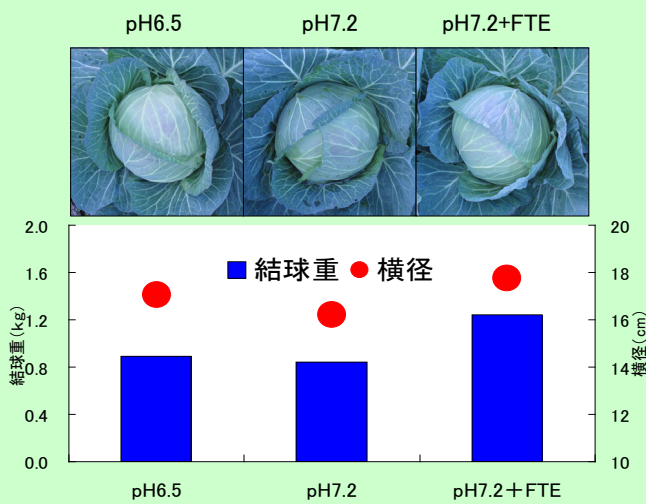


水田転換畑のキャベツ安定生産を図る 土壌高pH (pH7.2) 処理

水田の土壌pHは4.5~5.5であるため、水田でキャベツを栽培する場合、適正 pH の 6.0~6.5 にする必要があります。さらに一部の圃場で発病している根こぶ病は、土壌 pH を 7.2 以上にするとう発病を抑止できることが報告されています。そこで高 pH (pH7.2) 時でも微量元素欠乏症や生育抑制を防止し、高 pH に調整する土性別アルカリ資材の施用量を明らかにしました。

★土壌 pH7.2 で栽培すると？

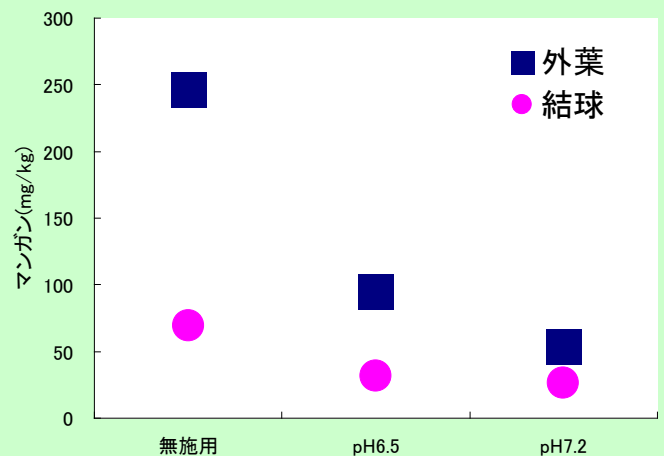
炭酸カルシウムと消石灰で土壌 pH を 7.2 に調整しキャベツを栽培した結果、微量元素欠乏症状や生育抑制はみられませんでした。



土壌 pH の違いがキャベツの重量と大きさに及ぼす影響
(pH7.2+FTEは、FTE1号を10kg/10a添加)

★土壌 pH7.2 での微量元素の必要性

キャベツに含まれるマンガンが低下するので微量元素肥料の施用が必要です。FTE1号であれば、10kg/10a以上施用してください。



土壌 pH の違いがキャベツのマンガン含有率に及ぼす影響

★土性別の pH 調整に必要な炭酸カルシウム量および消石灰施用量

pH6.5までは炭酸カルシウムで、pH6.5以上は速攻性の消石灰で調整します。

地域	土壌分類	土性	(kg/10a)		
			炭酸カルシウム量		消石灰量
			(pH5.0→pH6.5)	(pH5.5→pH6.5)	(pH6.5→pH7.2)
北広島町	灰色低地土	壤質	510	380	520
	灰色低地土	粘質	1070	790	1310
東広島市	灰色低地土	壤質	280	210	230
	グライ土	粘質	900	700	960
世羅町	灰色低地土	壤質	470	380	400

深さ10cmの土壌を調整する場合